# 麻機遊水地保全活用行動計画(改定２版)　概要版

## 第１章. 麻機遊水地保全活用行動計画の概要

P1~3

### 計画の目的

麻機遊水地の治水機能を確保しつつ、自然再生推進法に基づく自然再生を実施し、かつ当該地域の活性化を図るため、官民一体となった総合的な取組を推進していく。

### 計画の位置づけ

巴川流域麻機遊水地自然再生協議会で策定した「自然再生全体構想」と、市が策定した「麻機遊水地地区グランドデザイン」の双方を実現するために、協議会が推進していくための計画。

### これまでの課題と計画の進め方

これまで、作業人員が少数であり、活動の予算措置もなかったため、取組みは部分的なエリアに限定されていた。そのため計画では、協議会員の募集や予算を確保したうえで実施可能な取組みからはじめ、段階的に遊水地全体に拡大する。将来的には周辺の環境にも目を向け、地域全体の環境改善を目指していく。

## 第２章. 実施者の名称と実施者の属する協議会

P4

本事業は、「自然再生部会」、「地域活性化部会」、「ベーテル麻機部会」と「行政」が連携し、取組んでいくものとする。

**総　会**

- 会長
  田中博通（東海大学教授）
- 学識経験者
  専門委員
- 地域代表：
  麻機学区自治会連合会会長
  城北学区自治会連合会会長
  千代田東学区自治会連合会会長
  竜南学区自治会連合会会長
  流通ｾﾝﾀｰ地区代表
- 部会長
  各部会長、副部会長
- 行政
  静岡県（河川海岸整備課長、静岡土木事務所長、健康福祉部企画政策課長）
  静岡市（企画課長、環境共生課長、障害福祉企画課長、公園建設管理課長、河川課長）

**部　会**

| | |
|---|---|
| 自然再生部会 | 自然環境の保全、再生、創出、維持管理に関する協議及び活動 |
| 地域活性化部会 | 緑地緑道等の計画やイベント、利活用を図るための協議及び活動 |
| ベーテル麻機部会 | 障害者、高齢者等との共生社会を実現するための協議及び活動 |

**専門委員会**

- 学識経験者
  湯浅保雄（静岡植物研究会会長）
  杉本　武（NPO 静岡県自然史博物館ネットワーク）
  伴野正志（日本野鳥の会静岡支部副支部長）
  加藤英明（静岡大学教育学部准教授）
  西廣　淳（国立環境研究所気候変動適応センター副センター長）
  太田勇太（東海大学海洋博物館・自然史博物館研究員）

**顧　問**

難波喬司（静岡市長）

**事務局**

静岡市緑地政策課
静岡土木事務所（企画検査課、河川改良課）

**監　事**

毎年度総会において定める（２名）

総　会：事業計画及び予算、決算、監事及び専門委員の選任又は解任、その他協議会の運営に関する重要事項の審議。
部　会：部会は、協議会会員で構成し、協議会の目的を達成する機遊水地の保全及び活用についての協議及び活動を行う。
専門委員会：総会からの要請に応じ、麻機遊水地の自然再生についての技術的及び学術的知見から助言及び提言を行う。
顧　問：協議会の運営に関し指導及び助言をするほか、総会に出席し意見を述べることができる。
事務局：協議会における、運営、会計処理、備品等の購入等に関する事務処理を行う。
監　事：協議会における会計及び事業の監査を行う。

## 第３章. 自然再生の対象区域と麻機遊水地の概要

P5~27

### 対象区域

自然再生の対象区域は、麻機遊水地第１工区、第2-1 工区、第３工区、第４工区と国道１号静清バイパスより上流部の巴川とする。

**治水**　麻機遊水地は、巴川下流部の流量を軽減し、氾濫防止機能を発揮している。

**公園**　第１工区を「あさはた緑地」として供用開始。
第３工区を「浅畑緑地」として都市計画決定している。

**歴史**　かつては浅畑沼や小沼などの沼が存在していたが、土地改良事業で水田として整備された。

**自然**　土中の埋土種子から多くの希少植物が蘇り、さらには池沼部が形成されたことで、多くの動植物が生息・生育する良好な湿地環境が再生した。

**利用**　市民の自然観察、散策、スポーツ、レジャー、美化活動、自然資源の利活用等、多目的に利用されている。

**自然環境の課題**

- 植生遷移や外来植物、繁殖力の強い植物の繁茂により、開放水面の減少や湿地の乾燥化など、多様性のある湿地環境が消失している。
- 外来種等の侵入により、在来生物の生息環境が悪化及び、在来生物が減少している。
- 流入水が少ないことや腐植物の堆積等による水質悪化が懸念されている。
- ゴミの不法投棄、犬のフンの放置、外来魚の放流など、利用者のマナーが悪化している。

**協議会の課題**

- 麻機の魅力が十分に知られていない
- これまで各種取組みを行っているが、人手不足、人材不足等で、動植物の生息・生育状況や水質、利用者数等に関するデータの蓄積ができていない。
- 協議会の活動経費や人手不足により、自然再生事業実施計画で計画した取組みが実行できない。

## 第４章. 上位計画、関連計画の概要

P28~36

＜協議会の策定計画＞
「巴川流域麻機遊水地自然再生全体構想」、「巴川流域麻機遊水地自然再生事業実施計画」

＜静岡県の策定計画＞
「巴川水系河川整備基本方針」、「巴川水系河川整備計画」

＜静岡市の策定計画＞
「第３次静岡市総合計画」、「都市計画マスタープラン」、「みどりの基本計画」、「静岡市生物多様性地域戦略」、「麻機遊水地地区グランドデザイン」

上位計画や関連計画、現状の課題等を踏まえ、「麻機遊水地保全活用行動計画」を作成

# 第 5 章. 麻機遊水地保全活用行動計画

P37～61

## 行動計画の進め方

行動計画では、「第〇期実施計画」という形で、評価検証をしながら数年区切りで実施計画を積みかさね、官民が連携しながら順応的に自然再生全体構想やグランドデザインの目標を達成するために取組みを進めていくものとする。

第 1 期実施計画
2017 年度～2018 年度
→ 第 2 期実施計画
2019 年度～2022 年度
→ 第 3 期実施計画
2023 年度～〇年度
→ 目標

課題点の検証　評価・検証　評価・検証

## 取組み内容

### 良好な水環境の再生

- 水位調査と適正な開放水面の確保
- 水質改善実験
- 水質調査

水質改善実験

水質調査

### 周辺とのネットワークづくり

- 関係機関との連携
- 広報活動
- 各種イベント

関係機関との連携

各種イベント

### 人と自然との持続的な関わりづくり

- 自然観察会と今後を担う人材の育成
- 自然観察園、自然観察コースの整備、管理
- 自然博物館、生き物・パネル展示、出前講座
- 水田の維持管理・利用
- 利用に関するルール作りとその周知
- 風俗・風習の継承
- 清掃活動、美化活動
- 等

自然観察会

風俗・風習の継承

### 在来種の保全と生態系のバランスを保つ

- 埋土種子実験と埋土種子の里帰り
- 調査データの整理・公開
- 湿地の撹乱
- 水田整備
- 火入れ実験
- 表土保全
- 雑木の間引き
- ハス・オニバスの保全
- 外来種の駆除
- 生物・植物調査

水田整備

湿地の撹乱

## 【参考】将来構想

P62～67

保全活用行動計画では、麻機遊水地だけでなく将来的には周辺部の山地や農地、川などの自然環境も保全しつつ、静岡流通センター、病院、学校などと連携し、自立発展型の地域活性化を目指していく。麻機遊水地グランドデザインの柱のキーワードである「自然」「健康」「交流」「憩い」「共生」「体験」をテーマに将来構想を描き、官民連携で地域活性化に寄与する取組みを進めていく。

### ■サイクリング等のレクリエーション体験

遊水地では、自然を活かした様々なレクリエーションやサイクリングなどが楽しめる。この自然を活かしたレクリエーションは、日常的なストレスからのリフレッシュ効果が期待される。

サイクリング

カヌー体験

ウォーキング

青空カフェ（駿府城公園）

### ■健康食の提供、ウォーキングによる健康増進

麻機のレンコンやネーブルなど特産品を活用した健康食を提供するカフェを設置することにより、食による健康増進、地場産品の PR 効果が期待できる。

### ■交流拠点となる地域振興施設の誘致

道の駅や地場産品、麻機ブランド製品などの販売所の設置を検討し、地域経済の活性化や、障がい者の雇用促進を図る。また、障がい者支援に関する情報センターとしても活用を図る。

ｺｳﾉﾄﾘの郷公園販売所（兵庫県）

道の駅（宇津ノ谷峠）

観察会

ガイドシステム

### ■ガイドシステムの活用による共生社会の実現

病院の患者さんや市民がガイドを受けながら気軽に麻機の自然や歴史、文化などを学ぶことで、心のケアや地域への愛着心を育むことが期待できる。

### ■農業体験等を通じた憩いの場の創出

公園内に整備された農園や休耕地を活用した農業体験を行い、農業を通じて、地域の農業や食文化、人の営みを学ぶ場として活用を図る。

農業体験

企業と連携した除草訓練